



SPORTS OF DOUBLE DUTCH JAPAN OPEN'17 EAST

参加者募集

気軽にだれでも参加できるスピード競技会（一般部門）と、来年6月にアメリカで開催される“44th Annual ADDL World Invitational Championship”への出場権をかけた国内予選「JAPAN OPEN' 17 EAST」、更に「JAPAN OPEN' 17 EAST CHALLENGE」をあわせて行います。

今大会は、《規定演技、スピード競技、フリースタイル》の3種目で、4つの部門（高校生・大学生・社会人レギュラー・社会人マスター）に分かれており、各部門で競います。各部門でA標準記録を上回ったチームは、来年6月にアメリカで開催される“44th Annual ADDL World Invitational Championship”の出場権が得られます。

「JAPAN OPEN' 17 EAST CHALLENGE」として男性のみ・女性1名での構成チームでも参加OK！
※ADDLへの選考はございません。

国内トップチームの競技会をぜひご覧ください！！

ダブルダッチの大会初体験の方、日ごろの練習の成果を確認したい方、本気で国際大会を目指す方など、みんな江東区立スポーツ会館に集合！！

【開催日】 2016年11月5日（土）

【会場】 江東区スポーツ会館 （東京都江東区北砂 1-2-9）

【主催】 特定非営利活動法人日本ダブルダッチ協会(JDDA)

**【協力】 神奈川県ダブルダッチ協会 / 千葉県ダブルダッチ協会 / 埼玉県ダブルダッチ協会
茨城県ダブルダッチ協会 / JDDA 公認インストラクター
日本学生ダブルダッチ連盟(JSDDL) / 有限会社 OVER THUMPZ、**

【協賛】 京王観光株式会社

< 募 集 要 項 >

【スピード競技会】※ジャンパーのみの参加料となります。ターナーは参加料なし。

スピード競技会参加料 (1名分)	事前申込
JDDA 会員	300 円
JDDA 非会員	500 円

【JAPAN OPEN' 17】 EAST 参加料 (1 チーム分)

JAPAN OPEN '17 EAST 参加料 (1 チーム分)	シングルス	ダブルス
JDDA 会員 高校生以上	7,500 円	10,000 円
中学生以下	4,500 円	6,000 円
JDDA 非会員 高校生以上 ※チーム内に1人でも非会員がいる場合	9,000 円	12,000 円
中学生以下 ※チーム内に1人でも非会員がいる場合	6,000 円	8,000 円

【JAPAN OPEN' 17 EAST CHALLENGE 参加料 (1 チーム分)】

参加料 (1 チーム分)	シングルス	ダブルス
JDDA 会員 高校生以上	4,500 円	6,000 円
中学生以下	3,000 円	4,000 円
JDDA 非会員 高校生以上 ※チーム内に1人でも非会員がいる場合	6,000 円	8,000 円
中学生以下 ※チーム内に1人でも非会員がいる場合	4,500 円	6,000 円

【募集期間】

2016年9月16日(金) 10:00～ 2016年10月2日(日) 17:00まで

【申込み方法】

参加申込は当協会のホームページのエントリーフォームよりお申し込みください。

<http://www.jdda.jp/japanopen.html>

【参加料お支払い方法】

お申し込みいただいた方に、お振込み先、お振込み期日の詳細を返信させていただきます。
メールをご確認ください。

【部 門】※CHALLENGE 部門も同様

高校生	高等学校1年生、2年生、3年生
OPEN	メンバー全員が18歳以上（高校生不可）の学生
社会人レギュラー	社会人の方で、メンバーの総合年齢が シングルス→90歳未満、ダブルス→120歳未満のチーム。
社会人マスター	社会人の方で、メンバーの総合年齢が シングルス→90歳以上、ダブルス→120歳以上。

【競技紹介】

規定演技	シングルス（ジャンパー1人）は25秒、ダブルス（ジャンパー2人）は35秒以内に決められた演技を行い、技能、優雅さ、乱れのなさなどが判定の基準となります。
スピード競技	シングルス・ダブルス共に競技時間は2分間です。左右交互にステップを踏み、いかに多く跳べるかを競い、左足が床についた回数を数えます。ダブルスは1人目のジャンパーが最初の55秒間跳び、2人目のジャンパーが残りの時間を跳びます。
フリースタイル	1分間にT(ターニング)、A(アクロバット)、D(ダンス)、E(エンディング)の4種目を入れたチーム独自の演技を行います。演技では、小道具を使用したり、バク転など体操の技を入れたり、ダンスのステップを取り入れ、チームオリジナルの動きを創りだして自由な演技を行います。2本の回っているロープの中で何が出来るかを競います。

※審査方法、計算方法は、審査用紙解説を参照してください。

【ADDL 出場権獲得について】

※ADDL の出場権獲得については2パターンの獲得方法があります。

Aパターン	Bパターン
①各部門のシングルス、ダブルス または両方を優勝する	①各部門のシングルス、ダブルス または両方を優勝する
②全員が JDDA 会員である	②全員が JDDA 会員である
③総合得点が A 標準記録に達している	③総合得点が B 標準記録に達している
↓↓↓	↓↓↓
ADDL 出場権獲得	JDDA による審査の上 ADDL 出場権獲得について後日発表

※JAPAN OPEN' 15 から ADDL への選出方法が変わりました。FINAL 大会が無くなり、EAST、WEST の優勝チームで条件を満たしているチームを、をそれぞれ選出する事になりました！ただし、各部門で優勝したチームでも標準記録を上回っていないチームは ADDL への出場権を獲得する事ができません。

標準記録とは、各カテゴリーで優勝したチームが ADDL に出場するにあたり、本当に日本代表として適した実力を持っているのかを表す数値です。各部門で優勝したチームで、A 標準記録を上回ったチームは ADDL への出場権を獲得できます。各部門で優勝したチームが B 標準記録だった場合は JDDA の審査の上、出場権獲得の有無が後日発表されます。

各カテゴリーの標準記録は次の通りです。

【A 標準記録】

〈部 門〉	シングルス・ダブルス 共に総合点が
～小4	460点以上
小5,6	520点以上
中学生	560点以上
高校生	620点以上
OPEN	740点以上
社会人レギュラー	590点以上
社会人マスター	435点以上

A 標準記録の目安

【A 標準記録】	規定	スピード(0ミス、0反則)	フリースタイル	総合点
～小4	80点	260回(250点)	130点	460点
小5, 6	80点	300回(290点)	150点	520点
中学生	80点	320回(310点)	170点	560点
高校生	80点	340回(360点)	180点	620点
OPEN	80点	380回(460点)	200点	740点
社会人レギュラー	80点	330回(340点)	170点	590点
社会人マスター	80点	250回(235点)	120点	435点

【B 標準記録】

〈部 門〉	シングルス・ダブルス 共に総合点が
～小4	380点～459点
小5,6	470点～519点
中学生	510点～559点
高校生	550点～619点
OPEN	650点～739点
社会人レギュラー	530点～589点
社会人マスター	355点～434点

B 標準記録の目安

【B 標準記録】	規定	スピード(0ミス、0反則)	フリースタイル	総合点
～小4	75点	230回(195点)	110点	380点
小5, 6	80点	270回(260点)	130点	470点
中学生	80点	290回(280点)	150点	510点
高校生	80点	310回(300点)	170点	550点
OPEN	80点	350回(390点)	180点	650点
社会人レギュラー	80点	300回(290点)	160点	530点
社会人マスター	80点	220回(175点)	100点	355点

次ページの大会に関する注意事項を必ずお読みください。

重要なお知らせもございます。

『重要なお知らせ』

日本におけるダブルダッチ普及のために開催してきた「JAPAN OPEN」を本年度の「JAPAN OPEN '17」をもちまして、最後の開催とさせていただきます。

2009年の開催からたくさんの愛好者の皆様にご参加頂き大変嬉しく思っております。また、開催するためにインストラクターの皆様、関係者様に多大なるご協力を頂きました。改めまして、皆様に心より御礼申し上げます。

終了の理由としては、日本代表選手を派遣している ADDL 国際大会の参加選手、参加国の減少が続いている事が大きな要因です。

ダブルダッチの発祥・発展においては大変歴史のある大会であるため、厳しい決断ではありましたが、何卒、ご了承いただきたくお願い申し上げます。

今後、当協会としては日本国内予選として開始した「WORLD JUMP ROPE JAPAN SELECTION」に力を注いで参ります。

本戦である「WORLD JUMP ROPE CHAMPIONSHIP(世界大会)」は、参加国が25ヶ国とあり、盛り上がりが著しく、大変レベルの高い大会です。日本人競技者のレベルも上昇し世界で戦える実力を持つ日本人選手が多くいるため、世界の大舞台で活躍出来るようサポートして参る所存でございます。

また、日本代表選手として他国の競技者との国際交流なども含め、より充実した世界大会派遣になる事を願っております。

今後とも、変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

特定非営利活動法人日本ダブルダッチ協会
事務局長 原竹 純

【大会に関する注意事項】

1. JAPAN OPEN' 17 EAST (規定演技・スピード競技・フリースタイル) では、ADDL (アメリカンダブルダッチリーグ) 国際大会のルールに則り審査いたします。
※詳しくはこちらをご参照ください。→http://www.jdda.jp/pdf/jo_rule.pdf
2. 本大会では、高校生以上の部に参加したメンバー全員が JDDA 会員のチームのみ ADDL 国際大会出場への選考対象になります。また、シングルス・ダブルス共に規定演技・スピード競技・フリースタイル参加には、必ず女性が2名以上入っていることが条件となり、この3種目は同じチームメンバーで参加してください。
3. JAPAN OPEN' 17 EAST は、ADDL 国際大会の出場をかけた東日本予選会です。関東・甲信越地方より西にお住まいの方は参加できません。
11月23日に開される JAPAN OPEN' 17 WEST へご参加ください。
また、小中学生の ADDL 国際大会の選考会は、10月29日に中央区総合スポーツセンターで開催する「JAPAN OPEN' 17 JUNIOR」で行います。
※学校行事などで、JAPAN OPEN' 17 JUNIOR に参加できない場合、今大会での選考会を認める場合がございます。直接お問い合わせください。
4. JAPAN OPEN' 17 EAST CHALLENGE は、男性のみの構成・男性2名+女性1名の構成チームで参加することができます。
こちらの部門は表彰はございますが、ADDL 国際大会選考はございません。
JAPAN OPEN' 17 EAST 同様3種目の得点合計を競います。
5. 全ての競技会および発表会の申込は事前受付のみとなります。
(当日受付はございません。あらかじめご了承ください。)
6. 観戦料は無料となります。(フロアでの観戦も可能ですが、体育館用シューズをお持ちください。)

タイムスケジュール

開場・受付	10:00～	休憩	12:40～13:30
開会式	10:30～	ダブルス スピード競技会(一般部門)	13:30～13:45
シングルス スピード競技会(一般部門)	10:45～10:55	ダブルス (規定演技・スピード競技・フリースタイル)	13:50～15:30
シングルス (規定演技・スピード競技・フリースタイル)	11:00～12:40	結果発表・表彰式・閉会式	16:00～

※エントリー数によって変更する可能性があります。タイムスケジュールはあくまで目安である事をご了承ください。

競技会の参加に関するご注意

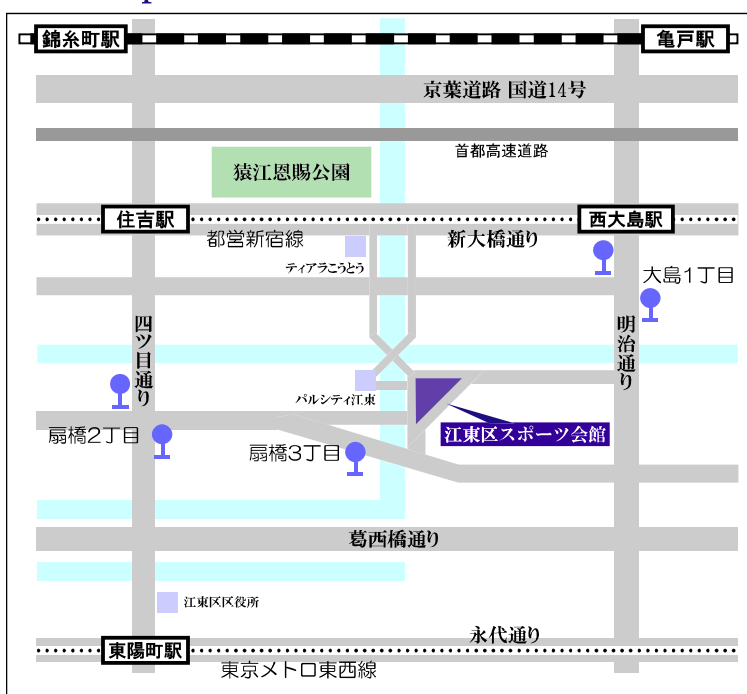
JAPAN OPEN' 17 EAST に出場する全てのチームはスピード競技、フリースタイル、規定演技の3種目全てに参加しなくてはなりません。JAPAN OPEN' 17 EAST のスピード競技のみや、フリースタイルのみの出場は認められませんのでご了承ください。

会場周辺図

●交通機関

- ・都営新宿線 「西大島駅」 徒歩12分、「住吉駅」 徒歩12分
- ・東京メトロ半蔵門線 「住吉駅」 徒歩12分
- ・都営バス 東22、錦22 「扇橋2丁目」 徒歩7分 都07、錦28、両28、亀23、亀29、
- ・急行05(土日祝のみ)、錦18(平日のみ) 「大島1丁目」 徒歩8分
- 秋 26 「扇橋3丁目」 徒歩4分

Access map



〔お問合せ先〕 特定非営利活動法人日本ダブルダッチ協会
〒154-0001 東京都世田谷区池尻2-33-15-205
TEL : 03-6805-3566 FAX : 03-6805-3567
URL : <http://jdda.jp/> E-mail : info@jdda.jp